JSCA 九州支部　平成 23 年度　第 1 回九州支部役員会議　会議録(案)

記録: 渡部 直人

日　時	2011 年 7 月 22 日(金) 14:30～17:30
場 所	鹿児島市勤労者センター（よかセンター）7 階　第 1 会議室 住所:鹿児島市中央町 10 番地キャンセビル7階　TEL 099-285-0003
出席予定者	尾宮支部長、宮田、上瀧　両副支部長　3 名 大塚、伊藤、川崎、今林、原、佐守　各幹事　6 名 吉原、森田、内山、浅田　各委員長･部会長　4 名 高嶌、江口、三根、赤星、高橋、大塚、木場、花城　各地区幹事　8 名 森本、田島　各地区会事務局　2 名 九州支部事務局　山下、渡部、新井　3 名 大分地区会　糸永　副代表　宮崎地区会　菊池会員　2 名 鹿児島･宮崎地区会会員　9 名 計　約 37 名

1. 支部長挨拶　----------尾宮支部長
   - ・本部人事についての報告
   - ・近況報告

2. 各懸案事項報告と審議
   - ・福岡県に於ける構造適合判定機関の複数化要望の現状報告

3. 各委員会・部会報告及び本年度事業計画

事業・会員委員会----------宮田委員長
- ・総会報告
- ・会員数の報告

技術委員会----------吉原技術委員長
- ・活動報告
  - ・福岡県構造適合判定機関の現状報告として、若手構造設計者からの苦情が多い。
- ・今後の活動予定
  - ・福岡県に対して、国土交通省の意見に基づき、構造適合判定機関の複数化を求めていく。
  - ・福岡構造適合判定機関と他県構造適合判定機関との指摘事項の比較を行う。
  - ・構造適合判定機関の指摘事項の一覧の作成を検討。

地盤系部会 ----------浅田　副部会長

・活動報告

・20101 年度の活動で「地盤調査ハンドブック」の作成と講習会は一区切りついたので、2011 年度は、地盤改良と杭関連の講習会を、3～４回開催する事を目指す。また部会のスキルアップを目指し、多少難しい内容の勉強会も開催したいと計画している。（例：地盤と基礎の相互作用など）
3. 11 の大震災以降、一般の方々からも注目されている「地盤の液状化」「断層」等のキーワードに着目した勉強会も開催したい。また昨年計画はしたが実現できなかった杭施工の現場見学会もぜひ開催したい。

・４月１６日・・・長崎ＪＳＣＡにて「地盤系-出張講習会」開催。参加者３０名程度。

・６月９日・・・・第１回会合。平成 23 年度の活動予定の打合せ。

・７月１日・・・・勉強会：東京ソイル内藤氏の部内講習会「地震と液状化」

・東日本大震災以降、「地盤の液状化」「断層」「津波」についてどのような情報展開が行われているかの意見交換。

・勉強会の後、懇親会。

・７月１３日・・・講習会：「セメント系固化剤による柱状地盤改良に関する勉強会」
（福岡市・都久志会館）参加者１００名

・今後の活動予定

・９月下旬・・・・講師を招いて「地盤と基礎の相互作用」の勉強会。→開催時期を多少遅らせて、講習会
に拡大して開催する可能性あり。

・９月～１０月・・「既製杭に関する講習会」を福岡住宅センターとの共催にて開催予定。

・１０月　・・・・見学会：杭施工の現場見学会。

・１１月　・・・・「場所打ち杭に関する講習会」の開催。

・近況報告、要望

・７月１３日の「セメント系固化剤による柱状地盤改良に関する勉強会」では１００名以上の参加者があり盛況でした。継続して「既製杭に関する講習会」、「場所打ち杭に関する講習会」を各協会の協力のもと開催したいと考えています。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

設計規準系部会----------伊藤部会長

・今後の活動予定

今後の予定として、鉄鋼連盟九州地区サブネットワークの設計式勉強会を３回開催予定にしている。

・８月１０日・・・第８回設計式勉強会の開催を予定

・１１月下旬・・・第９回設計式勉強会の開催を予定

・３月　　・・・第１０回設計式勉強会の開催を予定

・近況報告、要望

・会員よりの要望を集め、勉強会等を行いたい。

コンクリート系部会----------事務局　渡部代読

・今後の活動予定

・第１回：ＲＣ部会　勉強会

■　2011 年 9 月 7 日（水）　「先組み鉄筋 圧接現場見学会」プロロジス鳥栖工事事務所

場　所：鳥栖市姫方町百々田 1602 番地他

参加者：30 名　程度

*8 月に入って案内を出す予定です。

・第２回：ＲＣ部会　勉強会　　佐賀地区会　共同

■　2011 年 12 月 9 日（金）　15:00～17:00　　「新佐賀県立病院好生館見学会」

規　模：地上 9 階建　　高さＧＬ+44.95m　大規模免震病院

場　所：〒840－8571 佐賀市水ヶ江一丁目 12 番 9 号

参加者：40 名程度　の予定

【設計・監理】日建・三島設計業務特別共同体

【施　　工】竹中工務店・松尾建設・中野建設・唐津土木　特定建設共同企業体

*案内は、11 月初旬位に出す予定です

*可能であれば、日建設計構造担当者の方より設計内容の説明をお願いする予定です。

鉄骨系部会 ----------事務局　渡部代読

・今後の活動予定

・高炉、電炉等の勉強会の計画。

特殊(PC)系部会 ----------内山部会長

・活動報告

・2011 年　6 月 29 日　（水）　14：00～15：30

九州学院百周年記念体育館新築工事現場見学会を熊本地区会と共催で開催

出席者：26 名

・今後の活動予定

・2011 年　8 月　　運営委員会開催予定

・ 2012 年 2～3 月　ＰＣ性能設計指針（建築学会）勉強会　開催予定

木質系部会----------川崎部会長

・活動報告

・毎月 1 回の勉強会を意匠事務所を交えて行い、質疑回答書の作成をしている。

・今後の活動予定

・木造免震構造の勉強会を８月以降の開催を検討

・近況報告、要望

・木造建築の住宅形式と学校・病院等の耐震診断（案）が国土交通省からヒアリングの報告。

・官庁関連の規準が出され、内容が厳しくなっている。

青年部会----------今林部会長

・活動報告

・５月２０日・・・第２回会合（SEWC2011･ITALY 報告、鉄構工業会交流打合せ他）

・今後の活動予定

・８月５日・・・・鉄構工業会との意見交換会＆懇親会

・９月２日・・・・第３回会合（構造デザインシンポジウム報告、構造デザイン発表会リハーサル）

・１１月 5,6 日・・・沖縄見学会

・１２月・・・・・第４回会合（構造デザイン発表会報告、忘年会）

・近況報告、要望

・JSCA 構造デザイン発表会 2011（10 月）に九州支部より 2 件の応募があり、各支部より合計 16 件の応募が有りました、関西・北海道支部では支部コンペを行いつたとの状況報告

なでしこ会----------浅田部会長

・活動報告

・2011 年度の活動は「継続と発信」をテーマとする。
各自が「何か」を発信する場を設けて、それに向けて１年を通して継続的に活動する。
原則月１回は会合を持つ。
会合は講習会などの後に３０分～１時間程度。
参加者２名で、会合成立とする。

・実績

3/16（水）「旧九州大学六本松キャンパスにおける実在建築物破壊実験の報告会」後・・・2 名参加
4/5（火）・・・3 名参加
5/13（金）JSCA 九州総会後・・・5 名参加
6/21（火）・・・4 名参加
7/13（水）「セメント系固化剤による柱状地盤改良に関する勉強会」後・・・2 名参加
7/20（水）現場見学会・・・6 名参加

・今後の活動予定

・8/6（土）　暑気払い

・11 月　例会の開催

・12 月　忘年会

・近況報告、要望

・3 月から始めた毎月の例会は、その時によって人数にばらつきはありますが、内容としては、3 月の震災の影響もあり話題には事欠きません。
　参加頂いた方からは、日常を共にしていない同業の仲間からの話に刺激を受けているという感想を頂いています。

・11 月には忘年会を兼ねて活動発表会を行いますが、毎月の例会の延長でテーマレスの体験談を話す会、といった緩やかな会とする予定です。

編集ホームページ委員会----------森田委員長

・活動報告

・６月２０日　支部機関紙「ＪＳＣＡ１８号」　発行

・今後の活動予定

・８月　「ＪＳＣＡ１９号」　発行予定
予定内容：”第１回役員会 in 鹿児島”
地区トピックス（鹿児島）
鹿児島地区会特集　等
各見学会報告

・年４回の発行を計画

・近況報告、要望

・各地区会からの、情報発信を行うため、地区会に特派員の設置を行う、当面は地区会事務局が特派員として活動を手伝う。組織表にも明記する。

耐震改修促進委員会----------原委員長

・活動報告

・2011/06/17　　H23 年度　耐震改修促進委員会　第 1 回運営委員会開催

・今後の活動予定

・H23 年度　運営委員会組織について、各地区会に 1 人の委員のい配置を行う。

・H23 年度活動計画について

・ 中高層耐震プロジェクトの継続　　→　昨年度協力を頂いた企業に今回の東日本大震災での被害状況の報告をしていただく。

・ 改修現場見学　　→　各地区で特徴のある改修現場の見学会を開催する。

・ＪＳＣＡ九州　耐震ＨＰについて　　→　本部の登録とは別に継続する。

・近況報告、要望

・地区会より、耐震改修の情報を募集し、状況をまとめていきたい

・8/18 に福岡地区にて中村学園（ＣＦＴブレース）の見学会を開催予定で定員は 30 名程度

4. 地区会報告と本年度事業計画

沖　縄　----------花城幹事

・活動報告

・5 月 27 日・・・・・・松井千秋先生、山川先生の講習会を開催。聴講者 50 人

・6 月 21 日・・・・・・那覇市庁舎（免震構造）現場見学会（参加者 30 人）

・7 月 6 日・・・・・・・定例会＋一貫ソフトメーカによる技術講習会開催（参加者 50 人）

・7 月 21 日・・・・・・沖縄工業高校にて講話開催（3 巡目）

・今後の活動予定

・8 月 10 日・・・・・・ＪＳＣＡ会長：金箱氏との地区会懇親会予定

・10 月・・・・・・・・・・耐震診断講習会開催予定（JSCA 地区会講師）

・各月・・・・・・・・・・定例会開催

・近況報告、要望

・診断については、……現在１，２件程度

・適判については、……20 件～30 件程度

・構造適合判定機関は２機関あり、1 件が撤退して、(株)建築構造センターが加わった。

鹿児島　----------木場幹事・田島事務局

・活動報告

・６月１８日(土)新旧地区役員引継ぎ懇談会

・６月２４日(金)定例会を開催(主議題は、支部役員会の件)

・７月１４日(木)役員会(net 会議)

・７月２０日(水)役員会(net 会議)

・７月１６日(土)～１８日(月)　３名東北調査

福島、仙台市、仙台空港、釜石、石巻、南三陸、気仙沼の被災状況調査

・７月２２日(金)２３日(土)　九州支部役員会 in 鹿児島

・今後の活動予定

・９月１０日(土)定例会予定

・１０月２８日(金)～３０日(日)「くらしと建築展」協力予定

・１１月２６日(土)定例会予定、忘年会

・２月１７日(金)他会との交流会予定

・３月２４日(土)地区総会予定

・近況報告、要望

・診断については、……全体に数が減ってきている。

・適判については、……4 月 14 件、５月 10 件、６月 21 件

・イタリアへの調査・見学会を開催予定

宮　崎 ----------大塚幹事・森本事務局・菊池会員

・活動報告

・4 月 20 日(水) 第１回役員会を開催予定
新役員による活動方針についての意見交換

・今後の活動予定

・8 月 23 日(火) 第１回講習会を開催予定
(内容) 一部「キャップ式いちいち基礎工法」の設計の考え方
(JFE シビル㈱　野呂 彰氏)
二部 「行政からの伝達と RC 造保有水平耐力計算について」
(宮崎市建築指導係　土田 俊一氏)

・10 月　第２回講習会を開催予定
・11 月　親睦ゴルフ大会及び懇親会予定
・ １月　第３回講習会を開催予定

・近況報告、要望

・JSCA に未加入の構造設計一級修了者には入会を勧めているところです。現在のところ３名ほど快い返事をいただき、今後入会していただけるものと期待しています。
・耐震診断は県住宅センターで今年度は５回の判定会を予定しています。宮崎県の県立学校耐震化率は 94.6%（23 年 3 月現在）と耐震化がすすんでいますが、市町村によりばらつきが見られます。
宮崎市　94.6%（23 年 3 月現在）
延岡市　41.8%（22 年 4 月現在）
都城市　63.8%（23 年 3 月現在）
・構造適合判定は（株）建築構造センターの 1 社のみで行われている、不平不満の情報が多数、聞かれる。常駐者 1 名にて指摘が行われている模様で、直接の意見交換は出来るようになった。なお、1 社体制は好ましい状況ではない。

熊　本 ----------赤星幹事

・活動報告

・６月２９日・・・九州学院百周年記念体育館の現場見学会を開催した。

・今後の活動予定

・８月に地区総会（日程未定）を開催予定。
・１２月にセミナーを開催予定だが、対象者、内容等未定。
・今後、若手の育成のための勉強会、学生に構造分野に興味を持ってもらうための参加型のイベントを企画予定。

・近況報告、要望

・正会員は現在２０名、移動と退会で若干減。
・診断については、ほぼ落ち着いた様子。
・適判については、ＪＳＣＡ地区会から１０名が委託契約、多くのメンバーが月２件以上担当を目標に適判審査を行っている。
・構造適合判定機関は県の 1 社で、面積が 1 万㎡を置ける建物は（財）建築センターにて行われる、適判員の常駐者は無く、指摘内容は定期的に内容確認を行っているとのこと、最近は審査期間が長くなっている。

大　分 ----------高橋幹事・糸永副代表

・活動報告

・６月より若手構造技術者向けの講習会を実施(土曜日～４回実施済)

・今後の活動予定

・８月～適判との交流会予定(交流会ののち懇親会予定)

・１０月～技術セミナー実施予定

・１１月～地区役員会開催予定

・１２月～忘年会実施予定

・２月～見学会予定

・近況報告、要望

・適判件数　１月～３月　　－－－３０件程度

・４月～７月末　　－－－６９件

・耐震判定　　１月～３月　　－－－４４件程度（２組体制で判定）

・４月以降６月まで　　－－－ Ｈ２２年度　１件、Ｈ２３年度　１５件

・７月以降の判定予定－－－　４２件

・構造適合判定は３日から１週間で指摘事項を出している。

長　崎 ----------三根幹事

・活動報告

・７月１日　　理事会

・７月２７日　　例会（新日鉄の耐震ブレースの製品説明会）

・今後の活動予定

・９月　　見学会

・１１月　　地区会総会

・３月頃　　構造展を学生含めて、９月頃にテーマを決めて行いたい。

・近況報告、要望

・耐震診断の状況　　４月～７月　７４件

・適判受付状況　　４月～７月　４２件

・構造適合判定機関は（株）建築構造センター、(株)国際確認検査センター、ＥＲＩ(株)の３社で行われ、特に苦情等は聞かない。

佐　賀 ----------江口幹事

・活動報告

・６月３日　　・・・地区会総会、電炉鋼材勉強会（講師：東京製鐵）

・７月８日　　・・・建築技術者構造研修会

（講師：東京ソイルリサーチ内藤氏、地区会員　81 名参加）

・７月３０日　　・・・鉄構工業会との交流会（溶接体験、懇親会）

・今後の活動予定

・１１月　　・・・ゴルフコンペ、懇親会

・１２月９日　　・・・佐賀県立病院現場見学会（基礎免震構造　参加予定　50 名×２組を予定）

・近況報告、要望

・診断については・・・７０棟程度（８月２０日第１回目の判定委員会）

耐震診断委員に福岡大学の江崎先生が加わり４名体制となった。

・適判については・・・23 年度-26 件（8.7 件/月）S 造 73%、RC 造 27%

22 年度-128 件（10.7 件/月）、21 年度-88 件（7.3 件/月）

県建築土木センターにて、構造適判員は非常勤１３名にて行われ、福岡県の非常勤適判員も居られ、福岡県と同じ指摘がある。年に１回は全体会議が行われている。

北九州　----------高嶌幹事

・活動報告

・７月８日　　・・・北九州市とＪＳＣＡと勉強会
「東北地方の天井落下の状況と対策」　参加者：10 名＋25 名（市職員）

・７月 19 日　　・・・建築６団体と建築行政連絡協議会
耐震診断に力を入れ、木造建築に対しても行う

・７月３０日　　・・・鉄構工業会との交流会（溶接体験、懇親会）

・今後の活動予定

・８月　　・・・総会・懇親会

・１１月　　・・・産学官による講演会を予定

・１２月　　・・・忘年会・親睦会

・近況報告、要望

・会員の増加（目標：１名）を行いたい。

・耐震診断をさかんに行い、民間建物への普及を行いたい。

4. その他

(1)　鹿児島地区会会員自己紹介と一般ご意見等

・鹿児島会員の８名、宮崎会員の１名の自己紹介。

・鹿児島地区会として、活発な活動を行っていく予定。

(2)　今後の講習会予定の報告----------尾宮支部長

・８月８日　「2011 年　東北地方太平洋沖地震および一連の地震災害調査報告会」日本建築学会

・９月９日　「東日本大震災の概要と今後の備え」

・９月20日　「既存文教施設の耐震化に関する研究報告会 」
－九州大学六本松キャンパスにおける実在建築物耐震実験の考察－

(3)　福岡県構造適合判定機関の近況報告----------宮田・上瀧　両副支部長

・適合判定お開始当時よりは審査期間および指摘数等は 30%程度ではあるが、平準化は程遠い状況であり、声を上げる必要があると認識し、各会員で問題意識を共有して行きたい。

・適判員の常勤者と非常勤者との指摘内容に差が有り、また、設計者に対して試すような指摘内容がある。

(4)　次期会合開催予定----------山下事務局

・第２回役員会　　１１月１８日または２５日に場所は福岡市に開催予定。

・第３回役員会　　３月頃に拡大役員会を場所は福岡市に開催予定。

・来年度の第１回役員会の地区は沖縄とし７月頃の開催とする。